|  |
| --- |
| 学習のてびき　　　　　　文章を評価する |
| 学習日　　／ |
|  組 号 |
|  |

　評価するとは？

　　ものごとをよく観察・分析して、その良し悪しやどのような価値があるかを判断すること。

評価するときの流れ

1. 評価する対象を決める。
2. 評価したい対象について、評価の観点を決めて分析する。
3. 評価の観点に基づいて、良し悪しを決める。
4. 判断や価値の根拠を明確にして、論理の展開を考える。
5. 評価する言葉を使って、読み手にわかりやすい評価を書く。

評価するときに使いたい言葉　　＊意味が分からない言葉は辞書で調べる。

|  |  |
| --- | --- |
| 異彩を放つ　　　　合点がいく　　　　傑作珠玉緻密万人受け非凡磨きぬかれた申し分ない的確模範的比類ない卓越 | 良い評価 |
| 彼の作品は一際異彩を放っている選ばれたのは合点がいくミステリーの傑作だ珠玉の短編が多い緻密に計算された構成だこの歌詞は万人受けする非凡な才能を持った登場人物磨きぬかれた語感の良さこの表現は申し分ない彼の意見は的確だ模範的な文章だ比類ない表現方法だ卓越した技術をもっている | 使い方　例 |
| ありふれたいただけない興ざめ荒唐無稽ずさん粗雑駄作稚拙陳腐月並みぱっとしない紋切型度を越す | 良くない評価 |
| ありふれたストーリーだこの表現はいただけない予想通りの展開に興ざめだあまりにも荒唐無稽な話だずさんな論理の展開だ粗雑な計画で困る新しい漫画は駄作だった稚拙な話で読む気にならない陳腐な言葉は心に響かない月並みな生活しかできない頑張っているがぱっとしない紋切型では面白さに欠ける何事も度を越してはいけない | 使い方　例 |

生活に生かす

　○好きな物語や小説を選んで評価する。

　○スピーチやプレゼンテーションで発表者の話を評価する。

　○自分で書いた文章を自己評価し、より説得力のあるものにする。